

## 第7回地域振興事業（丘の公園）あり方検討委員会 会議録

- 1 日 時  
平成29年12月22日（金）午後1時30分から午後3時00分まで
- 2 場 所  
山梨県庁防災新館301会議室
- 3 出席者  
（委員）小口委員、桑田委員、小林委員、野村委員、萩原委員、村田委員、  
宮崎委員（50音順、敬称略）  
（事務局）秋元企業局次長、櫻井企業局総務課長、須田総括課長補佐、  
経営企画担当（3名）、財務担当（1名）
- 4 会議に付した議題等  
議 事  
（1）報告書骨子案について  
（2）その他

### （1）報告書骨子案について

#### 資料1について事務局から説明

（会 長）

意見、質問等については、この後の報告書の内容についての議論でお願いしたい。

（委 員）

丘の公園のあり方の報告書としてはこの形だろうが、地域振興の拠点であるため、もっと圏域を含めて話を進めるべきと入れたほうが良い。前段は、これまでの議論をまとめた結果から、道はこれしかないという結論を導き出しているだけであるので、単純に、指定管理者に任せるという話だけではなくて、圏域全体でどうするべきかを検討をすることが必須というところまで盛り込んでいかないと、ちょっと弱いと思う。

（委 員）

外部の有識者による検討をすべきと意見したのもそういう意味であり、地域の人達だけが検討しただけでは、少し弱いだろうということである。将来的には、長期的な視点で、地域をデザインするような力をもってやっていかないとならない。

(委員)

八ヶ岳周辺地域に同じようなところが何ヶ所かあるが、それらについて状況把握ができていないため、全体をまとめた形でちゃんとやらないと、多分だめだと思う。八ヶ岳周辺地域だけでなく、アクセスが悪かったことから今まで組んでこなかった人とも一緒にやるなども視野に入れないとなかなか難しい。

丘の公園のゴルフ場は、広大な土地があり、山々が見えるし、全国のゴルフ人口の減り方に比べると、頑張っている方であるという評価はそのとおりであるが、ゴルフというコンテンツがうんぬんではない。もっと全体で考える必要がある。

(会長)

丘の公園単体ということでは、今のところ最善の策を作ったのではないかと思うが、将来的な不安定要素が色々ある中で、地域の人達、場合によっては、関係者みんなを集めてという形になるかもしれないが、地域として盛り上げていくことを考えていく、地域として集客をするということを、地域の人達にも考えてもらうという必要があるかもしれない。

(委員)

テーマが丘の公園に絞られているので書きようがないが、八ヶ岳南麓という、県境を外した所で考えていく話だと思う。

(委員)

報告書の内容としては、存続が必要であるということは間違いはないが、どうやって売り上げを増やしていくかなどの一番肝心なところが出てこない。一番難しいが。

(委員)

それは、恐らく、報告書の内容としては出てこないものであると思う。指定管理者を募集する時に、全部提案させるのか、もしくは、これとこれはやるのが必須という条件を組み込むかという話になるのだと思う。

(委員)

報告書の内容だが、今までと抜本的な運営の仕方が変わったというのは、例えば、納入金を少し減少させる、修繕をもう少しやる、後は借入金を減らす、大きく分けてその3つくらいになる。これだけ手をかけてやってもそこまでしかいかないのだが、それが現状である。

(会長)

大変制約がある中でやっていかなければならないということ。

(会長)

今回の報告書は、ソフト面がどうかというところに踏み込んだものではないわけで、そのあたりも今後しっかり考えていく必要があるということか。

(委員)

屋外型のレジャー施設で今後、一番心配で頭が痛いのは異常気象である。ほとんど天候に左右され、天候が悪いと売上が落ちる。業界において、こういう屋外型の業種が魅力あるものか、リスクあるものかというのは、昔と見方が違ってきている。

昨今の異常気象で、夏の雨が年々増えてきているが、これから減るということはないと思う。そういうリスクがあると思うので、手を挙げてくる人も、従来のように夏は晴れていて稼ぎ時というようにはいかず、難しい。せっかくいい施設を作っても、雨が降ればどうにもならない。屋外型の宿命であり、今までと少し流れが違う。

(委員)

グラウンドなどであれば、2面あったら1面を人工芝にするなどの対応ができるが、ゴルフコースを人工芝にするわけにはいかない。

(委員)

一番の魅力は自然である。富士山が見えないから木を切るという意見もあるが反対だ。自然があるのが一番いいと思う。魅力であると思う。

(委員)

現在、ゴルフ事業がテーマになっているが、他の事業でも同じように施設は老朽化しており、特にアクアリゾート清里の老朽化は大変である。他にも修繕をしないと、だんだん魅力のない施設になっていく。

ゴルフ場だけコストダウンして収益が上がったとしても、他の事業においても色々な所で努力すべきである。

(会長)

ゴルフ場の収支を改善することが一番の課題であったが、委員の言うとおり、他の事業についても直近的な課題が残るので、今後、検討を進めていく必要がある。

また、地元の人と丘の公園と一緒にあって、地域を盛り上げることをやっていると思うが、現状、地域と丘の公園は一心同体に近いものがあるのではないかと。丘の公園がだめになって廃止してしまうと大きな影響があるのではないかと。今後、これだけ厳しい状況の中で、地域が丘の公園に支援するなど、お金を払って利用することを含めて、皆で考えていく必要があるのではないかと。

(委員)

丘の公園の温泉を使うことが、支援になると思う。市営温泉の方が料金は安いですが、そのような状況に応じて、丘の公園で割引チケットを配布しているため、地元の人が利用し、連携ができています。また、ゴルフ場についても、恐らく、地元の人が友の会の会員になり、支えているのではないかと。思う。

ゴルフ自体が高いお金がとれるものではなくなっている。ゴルフを柱としてやっていくのではなく、それ以外のところに目を向けることが次の課題である。もう少し先を見た投資しないと難しい時代になっていると思う。

(委員)

事業全体の中で、温泉とパターゴルフ、グラウンド・ゴルフ、オートキャンプ場とテニスコートについて、利用者がどういう目で見ているかということ、ゴルフ場以上に認知度が低いのではないかと思う。これらの事業に、競技人口が減少するゴルフ以上の魅力があるかということ、ゴルフよりは良い、程度の話である。これらも大変である。

(会長)

そんな中、活用策をこれからも考えていかなければならない。

(委員)

20年くらい経過すると、世の中は変わるので、事業はどんどん変えていかなければならない。例えば、テニスコートを売り物にして飛びついてくるような客はいない。

(委員)

ハードコートは余計に人気が無い。

(委員)

他の事業も同じような課題に対応していかなければならない。

(会長)

丘の公園単体だけで集客を得るには限界がある。

(委員)

地元の観光施設も、利用者をバスで送迎し、丘の公園の温泉を利用するなどの連携はしている。温泉は魅力があるが、他のレジャーはどれだけ魅力があるだろうか。

(委員)

あり方検討委員会においては、これまで議論してきたとおりであるが、今、我々としてこれ以上のことはできないと思う。しかし、アクアリゾート清里や他のレジャーのように、継続して検討すべき課題はまだ数多くある。地元と一緒に、これらの課題を継続して検討する方法はあるのか。その必要性について、どのように考えているか。

(事務局)

会長から、報告書に、将来的には、クラブハウスの建替が必要になるであろうし、他の施設についても、色々な見直しが必要になってくるため、もっと長期的な視点で検討すべきであるとの記載をしていただけると聞いている。これは、本日いただいたようなご意見を取りまとめた内容とご理解いただきたい。

大変申し訳ないが、新たに検討委員会を作るとするのは、時間が無いため、難しいと思っている。募集の際、検討することとさせていただきたい。

一般会計の例ではあるが、フラワーセンターのように全国区になった施設もある。この施設は、ハイジの村という名前で営業しているが、北杜市の明野ふるさと太陽館

という指定管理施設も、クララの湯という名前になり、テレビ番組でも放送された。民間にお任せして知恵をもらえれば、そのような方法が採れないことはないと思う。そういうことも踏まえながら、できる方法で指定管理者の募集をしていきたい。

(委員)

アイデアで大きく変わる。思っている以上にアイデアが背負っている部分は大きい。

(委員)

施設が新しければ、やり方もあるのだが。

(会長)

それも今後の課題の一つである。

まとめ方について。今回は、ゴルフ場を中心とした議論になったが、委員から意見があったとおり、アクアリゾート清里など、他にも色々な問題があるため、長期的な視点で検討を継続するというのを、折り込んでいく必要がある。

他に意見はあるか。

(委員)

まきばレストランには、良いシェフがいるのか、非常に料理も美味しく人気が高くファンがいるはずである。近隣施設と比べても、まきばレストランが一番強いと思う。

(委員)

まきばレストランは頑張っている。支配人を知っているが、牛を一頭買いし、その部位を使い分けてレストランで上手くコストダウンをしている。

台湾に営業に行って、台湾からお客様を呼ぶ等の集客努力をしている。

(委員)

団体客が増えると個人客は減る。個人客で十分にやっていけるような方向性が必要である。

(委員)

サンメドウズ清里のように見栄えを何とか綺麗にして、テラス席などで食べられるようになると良いと思う。

(委員)

そういうことは、土地の関係でできるのか。

(事務局)

施設の北側のエリアについては、今年度、少し綺麗にしてパラソル付きのベンチが置いてある。委員の意見は裏側のテラスをもっと前に張出すということか。

(事務局)

張り出しをするのは、関係機関との調整に、相当時間をかけないと難しいと思う。

(委員)

お金をかければ、その分人は来る。

(会長)

地元としても色々なアイデアを出して頂いて、一体となってやっていくということだろう。

(委員)

地元から要望を出してもらえば動いていくと思う。

(会長)

色々な意見をいただいたが、報告書の素案は、基本的にそのままよろしいか。  
また、「終わりに」の部分については任せてもらえればありがたい。  
他に無ければ、以上で、本日の議題を終了する。

以 上